

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			当日の利用定員を把握し、職員のシフトを調整。適切に配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		現時点では肢体不自由や重度の子どもの利用はないが、今後安全面での配慮をしていきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			週間やイベント前後の会議では広く職員が参画し、目標設定と振り返りを実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			実施したアンケート調査をもとに、業務改善に臨んでいる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		2019年1月より、ホームページ上で公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			機関ではないが、定期的に交流のある地域住民からの意見を聞き、連携を図っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修項目を提示し、年間を通じて実施している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			年間の活動プログラムを作成している。加えて、月間の活動プログラム等を提案し合う体制が整っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			同上
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			特に長期休暇時において、日常できない活動を計画し個別に支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			目標を設定し、段階を踏まえながら計画している。

15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			業務開始前に毎日、その日利用する子どもや支援内容の再確認をしている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		終了後もしくは翌日以降、各々が気付いた点について話し合っている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			業務日誌に日々の支援記録を記入。子どもの様子や活動等を共有し合っている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		目標の定期見直しを行い、職員間で共有している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		会議には至らないが、随時連絡を取り合っている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現時点では該当なし。 今後、状況に応じた対応をしていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保護者と面談し、情報を得ている。 必要に応じて、利用していた関係機関へ連絡が取れる体制になっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現時点では該当なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		連絡を取り合い、連携はしている。 今後、定期的に助言等をしていただく機会を設けていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		祭礼をはじめ地域の行事に参加することで、交流を深めている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートや送迎時等に、日々の子どもの様子や課題を伝達。その結果、保護者と共通した理解を持っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			同上
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			理解が得られるよう、分かりやすく説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		年に1度、保護者が集まる場を設けている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		機会があれば、積極的に設けていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的にマニュアル等を使用し、周知している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者からいただいた情報に基づき、アレルギーのある子どもに適切な対応をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所内で共有し、業務改善に努めている。